

CS+用 RXコード生成 ご使用上のお願い

CS+用 RXコード生成 (CS+ Code_Generator for RX) の注意事項を連絡します。

1. クロック設定の出力コードの注意事項

対象:RX64M グループ

2. バス設定の注意事項

対象:RX64M グループ

1. クロック設定の出力コードの注意事項 (対象:RX64M グループ)

1.1 該当製品

CS+用 RXコード生成

(CS+ Code_Generator for RX) V1.04.00

1.2 該当マイコン

RXファミリ: RX64M グループ

1.3 内容

クロック設定のr_cg_cgc.cソースファイル中にあるvoid R_CGC_Create(void)関数の出力コードに誤りがあります。システムクロックコントロールレジスタ2 (SCKCR2)ヘデータを書き込む場合、ビット0に "0" を設定します。ビット0への正しい設定値は "1" です。

1.4 回避策

void R_CGC_Create(void) の SCKCR2レジスタへの設定値を修正してください。

修正前:

```
-----  
/* Set UCLK */  
SYSTEM.SCKCR2.WORD = xxxx;  
-----
```

修正後:

```
/* Set UCLK */
```

```
SYSTEM.SCKCR2.WORD = xxxx + 1; <- SCKCR2レジスタのビット0に"1"を設定
```

1.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

2. バス設定の注意事項 (対象:RX64M グループ)

2.1 該当製品

CS+用 RXコード生成

(CS+ Code_Generator for RX) V1.04.00

2.2 該当マイコン

RXファミリ: RX64M グループ

2.3 内容

バスの領域設定でインターフェースにセパレートバスを設定する場合、アドレスラッチ信号(ALE)を有効にする必要があります。
本来は、ALEの設定に関わらずセパレートバスの使用が可能です。

2.4 回避策

ALEを有効にしてください。

ALEの設定が問題になる場合は、コード生成後にALE設定を解除するソースコード編集を行ってください。

2.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。